

平成19年度農山漁村いきいきシニア活動表彰について

農山漁村いきいきシニア活動表彰（主催：（社）農山漁村女性・生活活動支援協会、（社）全国農業改良普及支援協会、後援：農林水産省、全国農業協同組合中央会、全国森林組合連合会、全国漁業協同組合連合会）については、本年度、全国の都道府県から39の団体及び個人の推薦があり、厳正な審査の結果、本年度の受賞団体は下記のとおり選定され、平成19年10月9日（火）に農林水産省講堂において表彰式が行われました。

受賞団体の活動概要について、ご紹介しますので、地域における取組の参考として頂ければ幸いです。

平成19年度農山漁村いきいきシニア活動表彰審査委員名簿

(順不同・敬称略)

おくやま 奥山	しょうじ 正司	東京経済大学教授
しらいし 白石	まさひこ 正彦	東京農業大学教授 (審査委員長)
そえじま 副島	よういち 陽一	社団法人全国農業改良普及支援協会常務理事
ほりけ 堀家	きんこ 欣子	社団法人農山漁村女性・生活活動支援協会参与
やまもと 山本	としゆき 敏幸	全国農業協同組合中央会地域生活部次長 兼高齢者対策室室長
みやばやし 宮林	しげゆき 茂幸	東京農業大学教授
くわやま 桑山	こういち 公一	全国森林組合連合会組織部林政課課長
ばば 馬場	おさむ 治	東京海洋大学教授
いちむら 市村	たかのり 隆紀	全国漁業協同組合連合会漁政・国際部部长

平成19年度農山漁村いきいきシニア活動表彰受賞団体・個人一覧

最優秀賞

(農林水産大臣賞)

- | | | |
|-----------|------|------------------|
| 農村地域部門 | ・兵庫県 | ほほえみ会 (佐用郡佐用町) |
| | ・福岡県 | 柳瀬宮農組合 (京都郡みやこ町) |
| 山村・漁村地域部門 | ・北海道 | まかのまきよし (檜山郡江差町) |

優秀賞

(経営局長賞)

- | | | |
|--------|------|------------------------------|
| 農村地域部門 | ・島根県 | ゆうげんがいしゃ 有限会社 あしたば (鹿足郡津和野町) |
| | ・岡山県 | めいじごんぼう村 (井原市) |
| | ・山口県 | しづかわをよくなる会 (周南市) |

(林野庁長官賞)

- | | | |
|-----------|------|-----------------|
| 山村・漁村地域部門 | ・奈良県 | ササユリ組合 (吉野郡黒滝村) |
|-----------|------|-----------------|

(水産庁長官賞)

- | | | |
|-----------|------|---|
| 山村・漁村地域部門 | ・愛知県 | こすがやぎとぎょうこうれいしゃ 小鈴谷漁協高齢者グループ「菱若水会」(常滑市) |
|-----------|------|---|

優良賞

(全国農業協同組合中央会会長賞)

- | | | |
|--------|------|-------------------------------------|
| 農村地域部門 | ・岡山県 | J A しょうえいしろ 勝英白ねぎ部 (勝田郡奈義町) |
| | ・沖縄県 | J A おきなわ伊江支店とうがん部会のいきいきシニア (国頭郡伊江村) |

((社) 全国農業改良普及支援協会会長賞)

- | | | |
|--------|------|--|
| 農村地域部門 | ・宮城県 | ばぬしのうきんばつちよくばいしよ 馬主農産物直売所 ばんつあん市 (大崎市) |
| | ・千葉県 | かなまり 神余むらおこしの会 (館山市) |

((社) 農山漁村女性・生活活動支援協会会長賞)

- | | | |
|--------|------|---|
| 農村地域部門 | ・岩手県 | やよい 弥生グループ (一関市) |
| | ・熊本県 | くまもとうまのうぎょうきょうどうくみわいしよせいぶともちし 熊本宇城農業協同組合女性部砥用支部青空市場 (下益城郡美里町) |

(全国森林組合連合会会長賞)

山村・漁村地域部門 ・岡山県

吉野おきな草の会 (美作市)

(全国漁業協同組合連合会会長賞)

山村・漁村地域部門 ・宮城県

南三陸町立荒砥小学校祖父母会 (本吉郡南三陸町)

奨励賞

農村地域部門

・北海道

緑のめぐみ会 (名寄市)

・北海道

J A新得町女性部ポテトサークル (上川郡新得町)

・福島県

立表六十路会 (福島市)

・群馬県

J Aたかさききゅうり生産部会 (高崎市)

・群馬県

町田正男 (多野郡神流町)

・埼玉県

味菜工房 (比企郡嵐山町)

・長野県

上平を元気にする会 (埴科郡坂城町)

・富山県

南保柿出荷組合 (下新川郡朝日町)

・石川県

グリーングループ (白山市)

・福井県

まるやま農園 (小浜市)

・福井県

紫きぶグループ (越前市)

・岐阜県

もうやっこ (加茂郡坂祝町)

・岐阜県

御嵩町農家生活改善グループ連絡協議会 (可児郡御嵩町)

・岐阜県

ふれあいハーモニー (恵那市)

・愛知県

あいち三河農協ワサビ部会 (岡崎市)

・京都府

三岳高齢者活動促進施設運営委員会 (福知山市)

・奈良県

あゆみ会 (宇陀郡曽爾村)

・奈良県

新庄朝市実行委員会 (葛城市)

・岡山県

ハッスルかあちゃん工房 (真庭市)

・佐賀県

二里ふれあいグループ (伊万里市)

・熊本県

健軍農産加工グループしあわせ会 (熊本市)

・熊本県

婦れ愛グループ (天草市)

山村・漁村地域部門

・和歌山県

湊浦なぎさの会 (田辺市)

受賞団体及び個人の概要

1. 農村地域部門

賞名	農林水産大臣賞	都道府県名	兵庫県
団体名	ほほえみ会（兵庫県佐用郡佐用町）		
代表者名等	井口 美子（構成メンバー 8名 高齢者率 100%）		
活動の概要	<p>（特徴）加工・販売・交流（食育）を三本柱とした活動を年間を通じて展開。特に子ども達との交流に力を注いでおり、昨年から小学校の総合学習を担当して、食農教育活動を行っている。</p> <p>昭和48年に生活改善グループとして結成された。緑黄色野菜の共同育苗や老人会への弁当づくりのボランティア活動に始まり、現在では加工・販売・食育を活動の三本柱とし、幅広い活動を行っている。加工では廃校となった小学校の給食室を活用し、地元産物をブレンドして作った焼き肉のたれ等に取り組んでいる。販売では農産物の直売を行い、月2回の朝市から常設の農産物直売所を立ち上げるまでとなり、旧佐用町内の高齢者や女性の農業生産への意欲を高めた。食育では平成19年度は小学校の総合学習を担当するほか、中高生や親世代にまで対象を広げ、「食の大切さ」を伝えている。さらに、他グループとのネットワーク化やホームページの活用など積極的な活動を行い、今後ますますの活躍が期待できる。</p>		

賞名	農林水産大臣賞	都道府県名	福岡県
団体名	柳瀬営農組合（福岡県京都郡みやこ町）		
代表者名等	田中 正義（構成メンバー 45名 高齢者率 84%）		
活動の概要	<p>（特徴）高齢者中心で集落営農組織を結成。栽培面積が激減していた特産の柳瀬ゴボウを復活させるだけでなく、加工品の製造や、品目の拡大、子どもたちとの交流活動まで発展。高齢者を中心とした集落営農の組織化の国のモデルとなる優れた事例。</p> <p>会社退職者や女性を中心に平成9年8月に設立された。高齢者が積極的に集落をまとめ、集落営農を組織化し、ブロックローテーションによる水稻・大豆等による農地の高度利用に取り組んできた。近年では栽培面積が激減していた特産の柳瀬ゴボウを復活させる等、農業所得の向上と地域の活性化を図っている。さらに、生涯現役を合言葉に、ゴボウを使った加工品の開発や他品目の栽培等、積極的な取り組みを行っている。また、地元小学校と連携し、農作業体験学習等を通じた交流の中で、子どもたちに農村の豊かさや郷土を愛する気持ちを伝えており、いきいきとした地域づくりに大いに貢献している。</p>		

賞名	経営局長賞	都道府県名	島根県
団体名	有限会社 あしたば（島根県鹿足郡津和野町）		
代表者名等	中野ヒサエ（構成メンバー 9名 高齢者率 78%）		
活動の概要	<p>県内の農林水産加工活動に取り組む高齢者のグループの約160団体の中で、平成12年度に設立された同組織は任意組織から法人化した事例として先駆けとなった。出発時から試作を重ねてきたかりんとうが会社のメイン商品となり、次の商品開発の起爆剤となって、今では季節限定商品も含め30品目の商品を製造するまでになった。法人化して7年、年間販売額は安定的に4,000万円前後を維持している。地方の中小企業間での経営環境の厳しい状況が続く中で、社員達の年齢をものともしない精力的な活動は目を見張るものがある。</p> <p>この活動を契機に複数の女性起業が誕生し、同町や近隣の旧市町村単位で加工施設の拠点ができ、相互の連携を深めながら商品開発、販売努力を行う。また地産地消を推進する地域の資源を活用した食品加工事業として、女性・高齢者の就労の場、役割発揮の場として地域活性化に大きく貢献している。</p>		

賞名	経営局長賞	都道府県名	岡山県
団体名	明治ごんぼう村（岡山県井原市）		
代表者名等	楨坂 一成（構成メンバー 82名 高齢者率 98%）		
活動の概要	<p>昭和62年に結成され、生産技術の改善や地産地消、都市との交流、地域整備など活発な活動に取り組み、過疎化と高齢化が進む地域にあって、地域づくりに顕著な成果を上げている。創意工夫による独自の生産技術の改善を行い、ごぼう連作障害の究明など関係機関と密接に連携しながら諸問題を解決し、生産技術の改善に取り組んできた。また、ごぼうの抽台茎を利用した力杖の開発や、とっくりイモの導入推進など、高齢化に対応した省力軽作業化や新品目の導入を進めている。井原市や笠岡市のスーパー小売店で、他の一般野菜とごんぼう村ブランドの差別化を図るため、全ての店舗で「明治ごんぼう村コーナー」を常設している。高齢者でも取り組める農産物の生産体制を確立し、女性のパワーを活かした特産品の開発や都市との交流や地域づくりにも積極的、主体的に取り組んでいる。</p>		

賞名	経営局長賞	都道府県名	山口県
団体名	渋川をよくする会（山口県周南市）		
代表者名等	安永 芳江（構成メンバー 143名 高齢者率 62.9%）		
活動の概要	<p>過疎化・高齢化が進む周南市鹿野渋川地区では、地域の将来を心配した生活改善実行グループ員の女性たちが、生まれ育み支えてくれた渋川地区へ恩返しをしたいとの思いから、地元自治会等に対し、地域のみんが参加できるむらづくりの必要性を訴えた。女性たちの地域への熱い思いが男性陣にも共感を与え、渋川地区全戸加入の「渋川をよくする会」の設立に至った。長年の生活改善活動で培ってきたパワーで、むらを活性化する行動力と実践力をもって会を牽引している。共通目標を掲げながら、地域の相互扶助活動の復活、荒廃田への花の植栽や花苗の全戸配布等の住みやすく快適な環境づくり、豊かな自然環境の保全・維持活動、地域資源（ひと・もの）を活かした交流活動、農地を活かし守る活動等を実践しており、どの活動においても高齢者が生きがいを持って役割発揮し、積極的に地域社会活動に取り組む彼女らの活動は、地域の高齢者等の生産・生活の支えとなっている。</p>		

賞名	全国農業協同組合中央会会長賞	都道府県名	岡山県
団体名	JA勝英白ねぎ部（岡山県勝田郡奈義町）		
代表者名等	中務 迪雄（構成メンバー 86名 高齢者率 93%）		
活動の概要	<p>同地域は厳しい気象条件（局地風）とどう向き合うかが課題であったが、風の影響を受けにくく、耕土の深い火山灰土壌を活かす品目として「白ねぎ」に着目し導入を進め、苛酷な気象条件を克服し、地域を引っ張る存在となっている。産地拡大を進める方策として、積極的に省力技術、機械の導入、共同選果体制の整備を進め、機械の導入等を行い、徹底したコスト削減と省力化により短期間で産地拡大が図られている。また、チャレンジ精神も旺盛で、高単価の見込める新作型の開発に集団内有志が取り組むなど積極的に活発な活動で農業者の所得向上に努めている。産地拡大し、安定した生産活動を行うことにより、市場評価も高まり「奈義特産しろねぎ」として奈義の知名度向上に寄与するとともに、生産者の意欲向上にもつながっている。生涯現役として生き生きとした活動が行われている。また、新規栽培者が取り組む環境づくりが整備され、定年退職者を中心とした新規栽培者も確保され始め、地域農業の活性化、将来の発展性が見込まれる。</p>		

賞名	全国農業協同組合中央会会長賞	都道府県名	沖縄県
団体名	JAおきなわ伊江支店とうがん部会のいきいきシニア（沖縄県国頭郡伊江村）		
代表者名等	崎浜 秀信（構成メンバー 25名 高齢者率 60%）		
活動の概要	<p>伊江村のトウガンは今までの活動実績が認められて、沖縄県よりトウガン拠点産地としての認定を受け、今や県内においてトウガンの重要産地となっている。とうがん部会は、40代と若い年齢の部会員が担っており、それを先輩達が見守りながら協力する体制ができている。先輩達の意見を取り入れながら、新しい発想を加え、関係機関との連携や協力も積極的に行い、販売促進活動、現地検討会他多様な取り組みを自発的に行っている。これは20年近い部会の歴史の中で今は高齢者となった先輩達が作りあげてきたもので、それがトウガン産地の維持と共にしっかり後輩達に引き継がれている。</p> <p>60代以上のシニア部会のメンバーの多くは野菜生産者で、トウガンを始めとする伊江村の野菜生産における担い手となっており、今後も後輩達を後方から支援しながら重要な担い手としてしっかり産地を支え続け、農業の持続的な発展、農村の活性化を図っていくために、知識や経験が豊富な高齢者が担い手として産地を大きく支えている。</p>		

賞名	(社) 全国農業改良普及支援協会会長賞	都道府県名	宮城県
団体名	馬主農産物直売所 ばんつあん市（宮城県大崎市）		
代表者名等	千葉みゆき（構成メンバー 13名 高齢者率 92%）		
活動の概要	<p>人との交流を通じて地域活性化を図りたいとの思いが強まり、平成11年に自分達の作った農産物を直接生活者に販売する直売所『ばんつあん市』が開設された。平均年齢75歳の高齢者であるが、個々の得意な分野を生かした役割分担や交代制をとることで、心身的にも無理をかけない運営を心がけ、地元小学校・中学校との連携による次世代への食育活動の推進に大きく貢献している。地域の子ども達に地場で生産される安全で新鮮な農産物を紹介し、地域農業への理解を深めてもらいたいという気持ちから、平成12年より地元小学校と連携し、直売所を生活科の授業の一環として見学させ、地産地消の意義や食の大切さを農業者の立場から伝えている。高齢者のいきいきした活動が世代間の交流を生み、地域全体の活性化につながっており、周辺市町村でも、男性の高齢農業者が中心となって直売所（じいちゃん市）を開設するなど、高齢者を中心とした同様な取り組みが広がっている。</p>		

賞名	(社) 全国農業改良普及支援協会会長賞	都道府県名	千葉県
団体名	神余むらおこしの会（千葉県館山市）		
代表者名等	加藤 貢（構成メンバー56名 高齢者率57.1%）		
活動の概要	<p>高齢者の多い同地域では集落の農業生産基盤の維持や農業振興への取り組みが必要になった。このような現状の中「神余むらおこしの会」は高齢者が中心となり、地域活性化への成果を収めている。その活動は、高齢者の経験や知識及び技術を活かし、生きがいを持って地域の活性化に貢献することを目的として、①帰農者、兼業農家への栽培技術を支援する「しろうと百姓の会」②栽培した農産物を消費者に直接販売する「ふれあい神余の里」③食育の推進を図る「すこやかクラブ」④農村における次世代リーダーを養成する「万年青塾」があり、これらの活動を総括する会として、主軸の役割を担っている。この活動を通じて集落では村づくりと活性化が有効的に実践されてきた。その結果①農産物売上額の増加や直売所への加工品の提供、②就農者の増大や女性起業家の誕生、③食育の推進や農業者以外とのコミュニケーションの活性化等の実績を積み上げており、中山間地における農地・農村の荒廃、過疎化・高齢化を認識し、地域の将来を展望して、いきいきとしたシニア活動を10年以上も行っている。</p>		

賞名	(社) 農山漁村女性・生活活動支援協会会長賞	都道府県名	岩手県
団体名	弥生グループ (岩手県一関市)		
代表者名等	佐々木マツコ (構成メンバー 10名 高齢者率 90%)		
活動の概要	<p>長年培った加工技術を生かして地域を活性化しようと設立された。中でも昔から伝わるがんづき (お菓子) を現代風にアレンジした「大橋がんづき」は地域の人気商品として定着している。新商品の開発にも余念が無く、原価計算等も徹底し、経営発展にむけて堅実な経営を行っている。現在77才の代表者は自らパソコンを駆使し、商品ラベルやチラシの作成なども行い、ブログを開設し、情報発信も積極的に行っている。加工原料は地元のものを使い、地域の高齢者から野菜などを仕入れるなど、高齢者の生き甲斐づくりにも貢献している。また無添加の味噌を地元の幼稚園、小、中学校の学校給食に提供するなど地産地消の活動にも力を入れている。これらの様々な活動は存在感あふれる高齢者として地域から注目されている。</p>		

賞名	(社) 農山漁村女性・生活活動支援協会会長賞	都道府県名	熊本県
団体名	熊本宇城農業協同組合女性部砥用支部青空市場 (熊本県下益城郡美里町)		
代表者名等	山田 絹代 (構成メンバー 115名 高齢者率 77%)		
活動の概要	<p>昭和54年に数人による無人販売所から始まった同青空市場は、直売所など熊本県下にもほとんどない時代に、JA女性部員たちの手によって開店した。開店当時は先進事例として多くの視察者等から注目を集めた。開業から27年が過ぎた今も、老舗としてのプライドを持ち、会員たちの努力とアイデアを出し合い、常に消費者を大切にしてきたことにより、直売所の先駆者としての大きな役割を果たしている。会員の知恵を出し合って、定期的なイベントを企画したり、高菜漬けの樽売り、ポイントカードの活用など常に前向きにアイデアを出し、これらを実行し、地域の後継者である子どもたちをみんなで育てるために、図書の寄贈や社会見学等のお手伝いを行っている。</p>		

2 山村・漁村地域部門

賞名	農林水産大臣賞	都道府県名	北海道
氏名	坂野 正義 (北海道檜山郡江差町)		
代表者名等			
活動の概要	<p>(特徴) 地域に適応したヒバの苗木栽培や植林の技術を開発し、地域に伝わるヒバ文化の伝承と発展に寄与している。また、地域における桐栽培を復活させるため指導的役割を担う等、地域への貢献度は極めて高い。</p> <p>坂野氏は、檜山の地名由来となっているヒノキアスナロ(ヒバ)が減少の一途にあることに危機感を抱き、自己所有林で試行錯誤を繰り返し、檜山地域に適応した挿し木育苗技術を確立した。このほか、地域における植樹活動への苗木の提供や技術指導を行うなど、ヒバ文化の伝承に向けた取り組みにおいて、常に先導的な役割を担っている。また、桐栽培の復活に向け生産者・技術者として参画するほか、異業種の人々とも連携し、全国的にもほとんどの例のない桐の間伐材を活用した床材の開発に関わるなど桐文化の新たな振興にも取り組んでいる。加えて、森林と海の関係について講演するなどの新しい活動にも挑戦しており、地域の活性化はもとより北海道の森林づくりや木の文化の育成の大きな原動力になっている。</p>		

賞名	林野庁長官賞	都道府県名	奈良県
団体名	ササユリ組合 (奈良県吉野郡黒滝村、天川村)		
代表者名等	吉村 元成 (構成メンバー 18名 高齢者率 72%)		
活動の概要	<p>過疎化や高齢化をはじめとして、特に山村地域では解決すべき問題が山積みしている中で、同組合はササユリ栽培を通して「地域の人が集まる、話をする」きっかけとなった。山村地域においても、相互扶助や交流が希薄化してきている中で、播種・栽培・出荷の各講習会や組合総会等に一堂に会し、生長状況や売れ行き、タネの出来具合等の話をすることで、交流の場が増した。先人が大切にしてきた美しい自然や歴史文化を損なうことなく、山村というハンディをメリットとして活かして活動を行っている。この地に住む人の優しさ、この自然の美しさ、そしてここに来ればほっと一息つけるような、そんな村づくりを進めており、黒滝村、天川村の森を生かす取り組みとして、伝統ある吉野林業に新たな発想を加えるものと期待されている。</p>		

賞名	水産庁長官賞	都道府県名	愛知県
団体名	小鈴谷漁協高齢者グループ「変若水会」(愛知県常滑市)		
代表者名等	島 豊春 (構成メンバー 8名 高齢者率 100%)		
活動の概要	<p>高齢化が進む地域において、主力漁業である採貝漁業、ノリ養殖業の経営安定や省力化を始め、クルマエビ中間育成への協力等様々な活動を展開してきた。現在はアサリの食害対策に重点をおいて活動し、アサリの資源回復に尽力し、漁業と地域社会に大いに貢献している。また地域の女性部、青年部と連携・協力を図り、新たな漁業や後継者育成にも積極的に取り組んでいる。これまでに蓄えてきた同グループの知識や経験を生かして、若手漁業者の良きアドバイザーとして活躍している。同グループはアサリ等の採貝漁業、ノリ養殖業を営むのみではなく、食育の推進、栽培漁業及び資源管理の推進といった広い視野に立った自主的活動を通して地域に貢献、地域の模範として高く評価されている。</p>		

賞名	全国森林組合連合会会長賞	都道府県名	岡山県
団体名	吉野おきな草の会（岡山県美作市）		
代表者名等	小坂田尚子（構成メンバー 11名 高齢者率 64%）		
活動の概要	<p>「里山の自然」をテーマに森の恵みから特産品を生み出していこうと平成17年12月に設立された。会員の持つ山野草の増殖技術を活かし、寄せ植えにした山野草の販売や、間伐材を使用した鉢やガンピの樹皮を使った織物などの製作販売を行っている。また、山村と都市との交流により地域の活性化を図るため「里山山野草めぐりと庭園古民家めぐり」を企画実行するなど、県内外からの観光客にも好評を得ている。</p> <p>これら森の恵みを積極的に活用しようとする活動は、地域の活性化と高齢者の地域社会活動に多大な役割を果たしている。</p>		

賞名	全国漁業協同組合連合会会長賞	都道府県名	宮城県
団体名	南三陸町立荒砥小学校祖父母会（宮城県本吉郡南三陸町）		
代表者名等	板倉 鶴松（構成メンバー 60名 高齢者率 100%）		
活動の概要	<p>学区内の高齢者が集い、学区内の児童に海の豊かさ・漁業の大切さを伝承させるために、学校のすぐ前の浜を利用し地曳き網漁の体験をさせる活動を20年間にわたり継続して実践してきた。さらに平成元年からはワカメ養殖体験を、平成3年からは「海原（うなばら）水族館」というミニ水族館の設置・維持管理の実践といった多彩な活動を展開している。地域の産業を学ぶためには、単なる学校行事への協力の枠を超え、児童だけでなく、地域の保育所児、老人ホームのお年寄りにも漁業体験や見学の機会を与えるなど、幅広く地域への貢献がなされ、地域が一丸となり、地域づくり、明るい漁村づくりに努め、浜に元気を与えているのは、この祖父母会の活動の成果である。また、この活動は広く注目を集めている。</p>		